

先達(センダツ)先にその道に達した“先輩”のこと。先に立って案内する人の意にも用いる。

洗滌(センデキ)滌は水をそそいですすぐこと。洗いすすぐこと。條に引かされて“センジョウ”と読むようになった。今は“洗淨”で代用されるが、これでは“洗いすすぐ”ではなくて“洗いきよめる”になる。

宣命(センミョウ)昔の詔勅の一種。いわゆる宣命体で書かれている。

闡明(センメイ)闡は門のとびらを片方(単)だけ開くこと。転じて“開明”する意。はっきりしなかったことを明らかにすること。

憎悪(ゾウオ)悪も憎む意。憎み悪むこと。

総括(ソウカツ)括はくくる意。総べ括ること。“一括”とも言う。

総轄(ソウカツ)全体を総べ取り締まること。

造詣(ゾウケイ)造も脂も到る意。学問や芸術の道に奥深く到達していること。

相好(ソウゴウ)相は人相。顔かたち。表情の意。例 相好をくずす(喜んでここにこすること)

莊嚴(ソウゴン)莊は草が盛(壯)んに茂る意。転じて、おごそかなこと。非常に威嚴があつて重々しい意味。

雑言(ゾウゴン)いろいろな悪口のこと。“ゾウゲン”とも言う。

操作(ソウサ)操はあやつる、作は働き、仕事。機械などをうまく使って仕事をすること。

相殺(ソウサイ)殺はそぐ、削る。互いに削るの意。差し引きして帳消しにするこ

と。

宗匠(ソウショウ)文芸・技芸に熟達して人に教えることのできる人。たとえば、俳諧や茶道の先生など。

騷擾(ソウジョウ)騒いで秩序を乱すこと。

簇生(ソウセイ)竹がひと所に群生するよう  
に、草木が群がって生えること。

争奪(ソウダツ)奪い合い。

莊重(ソウチョウ)おごそかで重々しい。

装填(ソウテン)物をこめること。例 弾丸を装填する・フィルムを装填する

壮図(ソウト)壮大な計画。

蒼氓(ソウボウ)人民。蒼生・青人草などとも言った。